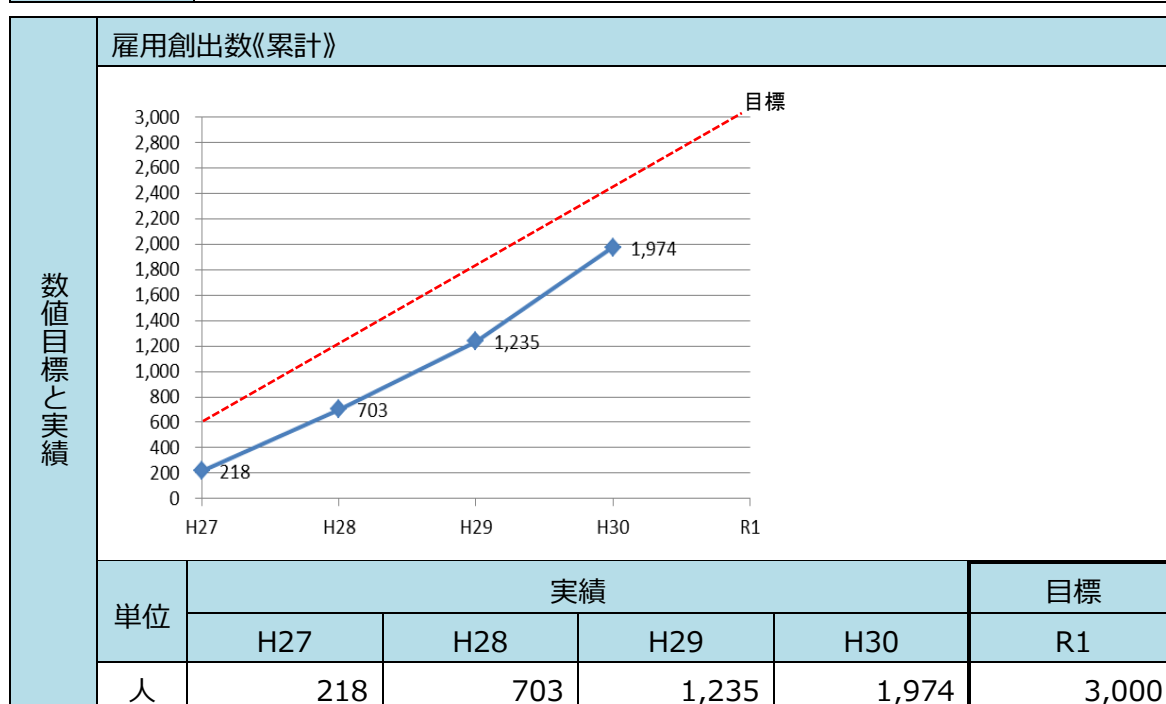


米子がいな創生総合戦略（政策分野別）の4年間の総括について

政策分野	I しごとを守り生み出す元気なまち米子
基本目標	経済の活性化を図り、安定した雇用を創出します
数値目標	■雇用創出数《累計》⇒5年後までに、新たに3,000人以上
基本的方向	○若い世代を中心とした雇用対策 ○高齢者等の活躍促進
主な施策	・企業誘致の推進と地元企業への支援 ・中小企業等への支援 ・多様な連携による新事業・新産業の創出促進 ・高齢者等の活躍の促進



総括

「雇用創出数」の達成に向け、企業誘致の推進、中小企業への支援、創業・事業承継への支援に加え、新事業・新産業の創出促進に取り組むとともに、高齢者・女性が活躍できる環境整備等にも取り組んだ。4年目が終了時点で目標を下回っているが、平成30年度はここ4年間で最も多い739人の雇用が創出され、右肩上がり伸びている状況である。

今後は令和元年度中に完成する工業用地を活用し、また、新たな工業用地の確保にも努めながら、強力に企業誘致を推進するとともに、中小企業振興条例に関する条例を制定するなど、地域経済の更なる発展にも取り組み、引き続き安定した雇用の確保に努めていくこととしている。

政策分野	Ⅱ ひとを呼ぶ魅力あるまち米子
基本目標	移住定住の促進・人口流出の抑制・魅力あるまちづくりの推進を図り、新しい人の流れをつくります
数値目標	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人口の社会増減《年間》 ⇒5 年後において、プラス 200 人 ■ 県外からの移住者数《累計》 ⇒5 年後までに、新たに 2,500 人以上 ■ 皆生温泉周辺の観光客入込み客数《年間》 ⇒5 年後において、178 万人以上 ■ 皆生温泉宿泊客数《年間》 ⇒5 年後において、47 万 5 千人以上 ■ 皆生温泉の外国人宿泊客数《年間》 ⇒5 年後において、30,000 人以上
基本的方向	<ul style="list-style-type: none"> ○山陰両県以外からの移住定住の促進、若者の人口流出抑制とふるさと回帰促進 ○観光客とコンベンションの誘致
主な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・移住定住の推進 ・若者の人口流出抑制とふるさと回帰促進 ・観光誘客の推進 ・歴史と文化に根差したまちづくり ・中心市街地と郊外の一体的な発展を目指したまちづくり

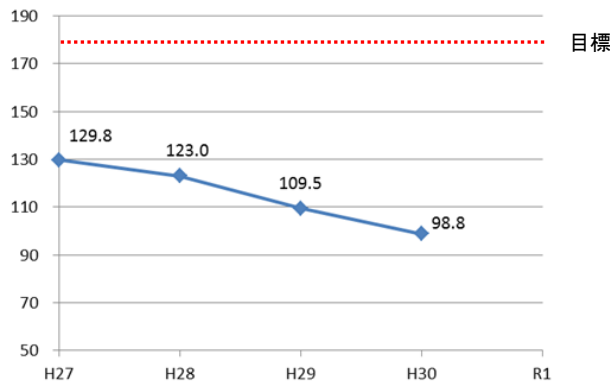
数値目標と実績	①人口の社会増減《年間》				
	単位	実績			
	H27	H28	H29	H30	R1
万人	12	-27	-54	12	200

数値目標と実績	②県外からの移住者数《累計》				
	単位	実績			
	H27	H28	H29	H30	R1
人	480	985	1,518	1,975	2,500

※H28.10.28 上方修正
1,500 人→2,500 人

数値目標と実績

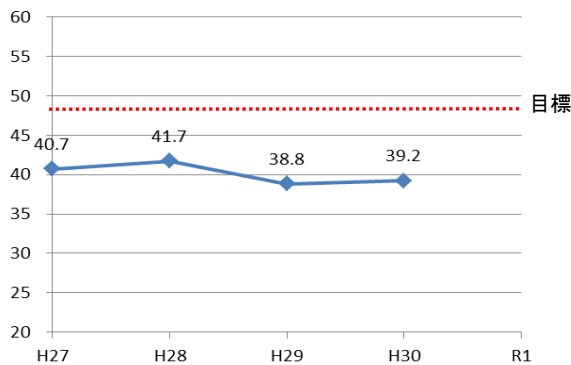
③皆生温泉周辺の観光客入込み客数



単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1
万人	129.8	123	109.5	98.8	178

数値目標と実績

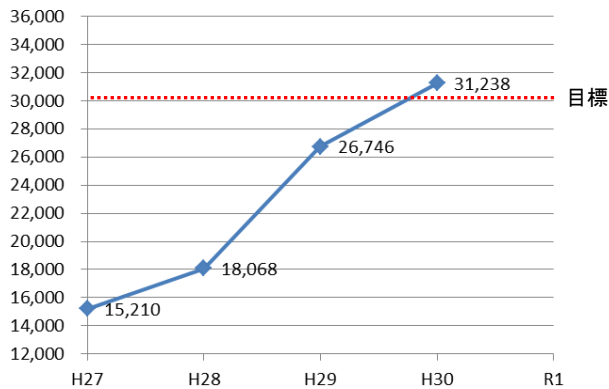
④皆生温泉宿泊客数《年間》



単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1
万人	40.7	41.7	38.8	39.2	47.5

数値目標と実績

⑤皆生温泉の外国人宿泊客数《年間》



※H28.10.28 上方修正
17,100人→21,900人
※H30.4.10 上方修正
21,900→30,000人

単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1
人	15,210	18,068	26,746	31,238	30,000



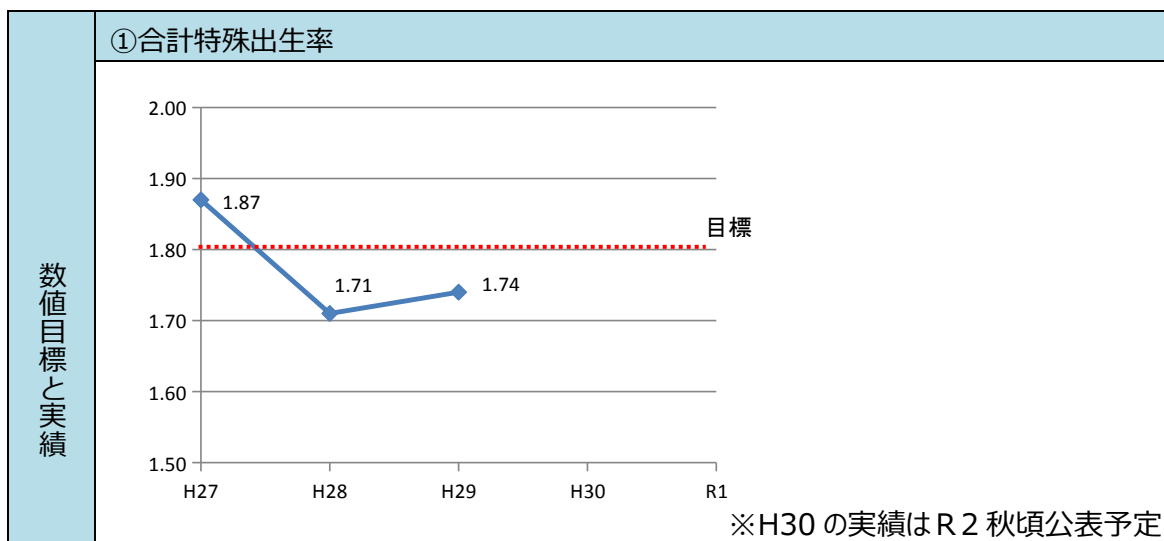
総括

市の魅力を内外に積極的に情報発信することなどにより、山陰両県以外の地域を視野に入れた移住定住の促進に取り組んだ。当初は 5 年間で合計 1,500 人の移住者の獲得を目標として設定したが、順調に進捗したため、平成 28 年に目標を 2,500 人へ上方修正した。しかしながら、社会増減については社会減の傾向であるため、引き続き移住定住を促進するとともに、将来を見据えてふるさと教育など、若者の人口流出抑制に向けた取組も進めていくことに加え、新たに関係人口の拡大にも取り組み、将来的な移住定住につなげていくこととしている。

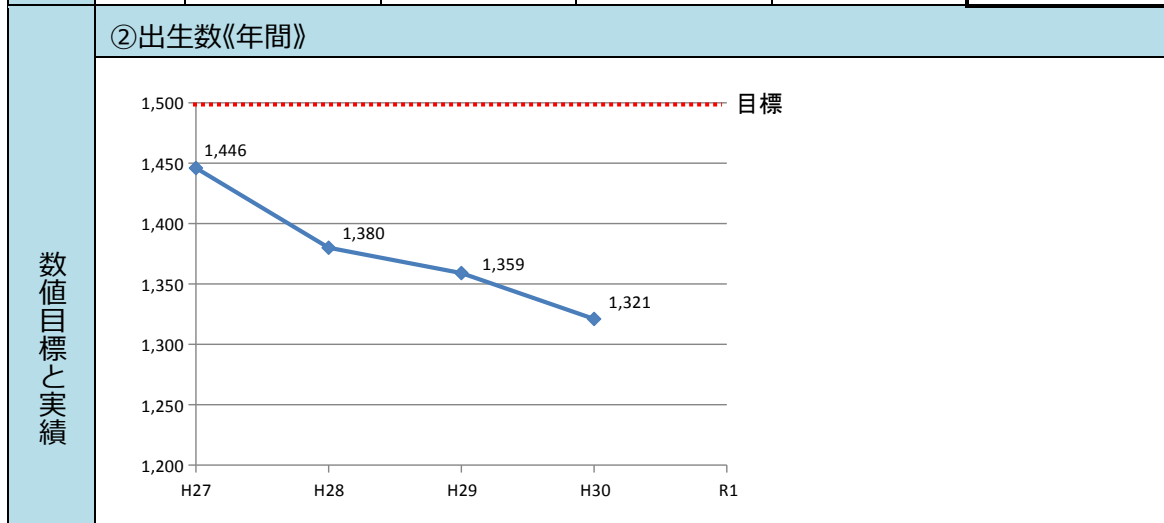
交流人口の拡大につながる取組としては、米子駅前及び角盤町エリアの活性化、皆生温泉、米子城跡などの地域資源を活用した観光誘客に取り組んでいるが、近年、皆生温泉の外国人宿泊客数が順調に伸びており、平成 27 年の 15,210 人から平成 30 年には 2 倍を超える 31,238 人の実績となっている。一方で、皆生温泉周辺の観光客入込み客数、皆生温泉宿泊客数は目標を下回っているため、今後は国内観光にも一層注力していく必要がある。

当面の課題として、利便性の高い公共交通体系の整備や都市間道路ネットワークの充実など、インフラ整備にも取り組んでいるが、これは観光客のモビリティを確保するだけでなく、市民の生活の利便性向上にもつながるものであり、引き続き、早期の整備・実現に向けて取組を進める。

政策分野	Ⅲ ひとを愛し育む希望のまち米子
基本目標	少子化対策の推進を図り、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえます
数値目標	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合計特殊出生率 ⇒ 5年後において、1.80程度以上 ■ 出生数《年間》 ⇒ 5年後において、1,500人程度
基本的方向	○少子化対策への総合的な取組
主な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的学習機会・相談支援体制と結婚につながる出会いの場の提供 ・子育て世帯への経済的支援 ・保育サービス等の充実 ・乳幼児保健・育児支援の充実妊娠・出産の支援



単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1
-	1.87	1.71	1.74	未公表	1.80



単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1
人	1,446	1,380	1,359	1,321	1,500人



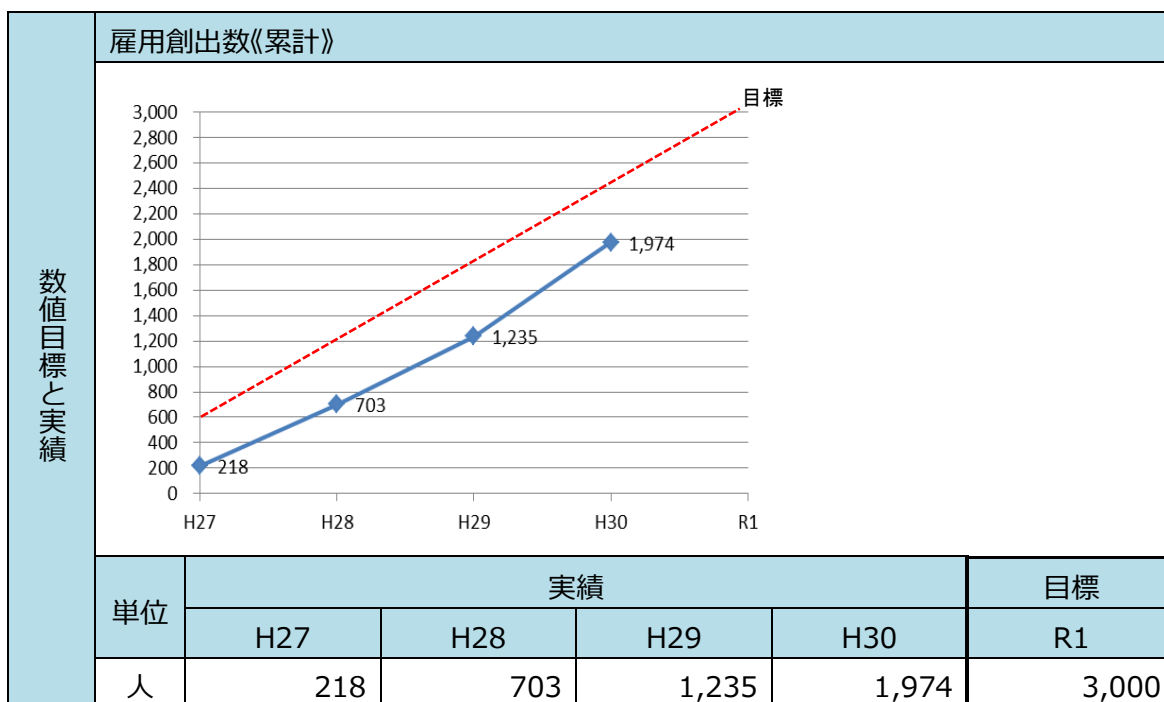
総括

少子化は、未婚化・晩婚化、産む出生数の低下のほか、様々な要因が絡み合って進行していることから、子育て世帯への経済的支援、保育サービス等の充実、乳幼児保健・育児支援の充実、妊娠・出産の支援などに総合的に取り組んでいる。

平成 27 年度においては、第 3 子以降の保育料無償化、平成 28 年度には第 2 子の保育料の一部無償化（所得制限等の条件あり）及び小児特別医療費助成に係る対象年齢の拡大を実施し、県と協調しながら、子育て世帯への経済的支援に取り組んだ。また、平成 30 年度にはこども総合相談窓口の設置や 5 歳児全員を対象とする 5 歳児検診の実施など、多様なニーズへ対応するための支援体制の充実も図ってきたところである。

数値目標として設定した合計特殊出生率については、目標値付近で推移しているものの、出生数は減少が続いており、また、出生数に影響がある若年女性人口が減少していることから、引き続き、状況を注視していく必要がある。

政策分野	Ⅳ しごとを守り生み出す元気なまち米子
基本目標	経済の活性化を図り、安定した雇用を創出します
数値目標	■雇用創出数《累計》⇒5年後までに、新たに3,000人以上
基本的方向	○若い世代を中心とした雇用対策 ○高齢者等の活躍促進
主な施策	・企業誘致の推進と地元企業への支援 ・中小企業等への支援 ・多様な連携による新事業・新産業の創出促進 ・高齢者等の活躍の促進



総括

「雇用創出数」の達成に向け、企業誘致の推進、中小企業への支援、創業・事業承継への支援に加え、新事業・新産業の創出促進に取り組むとともに、高齢者・女性が活躍できる環境整備等にも取り組んだ。4年目が終了時点で目標を下回っているが、平成30年度はここ4年間で最も多い739人の雇用が創出され、右肩上がり伸びている状況である。

今後は令和元年度中に完成する工業用地を活用し、また、新たな工業用地の確保にも努めながら、強力に企業誘致を推進するとともに、中小企業振興条例に関する条例を制定するなど、地域経済の更なる発展にも取り組み、引き続き安定した雇用の確保に努めていくこととしている。